



展覧会概要

古くから日本各地で刀剣が生産されてきましたが、なかでも山城国（京都府）と大和国（奈良県）は都が置かれたことから、貴族や寺院の需要に応じた作刀が盛んに行われました。また大和国の刀工たちの作風は、九州の刀工たちに少なからぬ影響を及ぼしました。山城国・大和国を中心とした畿内の刀工の作品や九州の刀工の作品を紹介します。

展覧会基本情報

- ◆展覧会名 特別展 名刀紀行—京・大和と九州—
- ◆会場 徳川美術館 本館展示室
- ◆会期 2021年6月5日（土）～7月11日（日）
- ◆開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- ◆休館日 月曜日
- ◆観覧料 一般1,400円 高・大生700円 小・中生500円
※蓬左文庫展示室にて同時期開催の企画展「あかがね／くろがね」と共通
※20名様以上の団体は一般1,200円 高・大生600円 小・中生400円
※毎週土曜日は高校生以下無料
- ◆作品数 69件
- ◆主催 徳川美術館
- ◆協力 名古屋市交通局

プレス内覧会

2021年6月4日（金）

プレス内覧会：午後1時30分～3時 受付：午後1時15分 会場：徳川美術館 講堂

展覧会担当学芸員による概要解説の後、自由取材。

・内覧会開催日に限らず、取材は随時お受けいたします。

・動画撮影につきましては開館時間外も対応いたしますので、ぜひお気軽にご相談ください。

第1章 やましるのくに 山城国の刀剣

日本国内の代表的な刀剣産地は山城国（京都府）・相模国（神奈川県）・備前国（岡山県）などが数えられますが、多くの場合山城国などが筆頭に挙げられるのは、かつての都であり歴史の古いことに加え、数多くの名工を輩出し、優れた作品を世に送ったことによります。山城国は平安時代（8～12世紀）以来、長らく都が置かれた日本の中心であり、全国から人と物資と情報が集まる地でした。中央政府は、都の治安維持や地方の戦乱に備えるため鑓や弓矢などの武器を生産し、刀剣も平安時代初期から作られました。遺品としては平安時代末期の名工・三条小鍛冶宗近の作が最古で、以後盛衰を経ながら江戸時代の末（19世紀）まで続きました。山城国の刀剣の特徴は、直線の刃文「直刃」に梨子地肌と呼ばれる粒子の細かい地鉄、細身で腰反りの太刀姿などが挙げられます。



国宝 短刀 銘 吉光 名物 後藤藤四郎（粟田口派）
後藤庄三郎・徳川家光（3代将軍）・徳川光友（尾張家2代）所持
鎌倉時代 13世紀



国宝 太刀 銘 来孫太郎作（花押）正応五年 壬辰 八月十三日（来派）
徳川家康所持 駿府御分物
鎌倉時代 正応5年（1292年）

第2章 やまとのくに 大和国の刀剣

大和国での刀剣生産は奈良時代（8世紀）以前にさかのぼるといわれていますが、現存する大和国の刀剣の多くが鎌倉時代（13世紀）以降の作です。これらは東大寺や興福寺といった大寺院に所属した僧兵の注文によって作られたといわれており、山城国や備前国で作られた刀剣に比べると、遺品の数は多くありません。刀工から直接注文主へ納められたことから、茎に作者の銘を刻まない無銘の作が多いことが特徴です。また直刃の刃文に柂目の地鉄が多く、やや重ねの厚い刀身など、実用性を重視した刀剣が見られます。大和国の刀工たちは鎌倉時代以降日本各地に分散し、移住した各地で刀剣を作り、大和伝（大和国の刀工の作風）を伝えました。



短刀 無銘 保昌（保昌派）
徳川家康所持 駿府御分物
鎌倉時代 13世紀



短刀 朱銘 タヘマ 光室（当麻派）
徳川綱誠（尾張家3代）所持
鎌倉時代 14世紀

第3章 畿内の刀剣

畿内のうち、山城国と大和国を除く摂津国（大阪府北部）や和泉国（大阪府南部）で活躍した刀工の作品を紹介します。摂津国における刀剣生産は桃山時代（16世紀）以降、和泉国における刀剣生産は室町時代初期（14世紀）以降と、大和国や山城国よりも遅れて始まりました。摂津国の助広や和泉国の資正が代表的な刀工として知られ、助広は荒波に見立てて作り始めた刃文「濤瀾刃」は多くの刀工が模倣しました。

第4章 九州の刀剣

都から遠く離れた九州においても、刀剣の生産が行われました。九州における刀剣の生産は、鎌倉時代以降に大和国の刀工が移住して作刀技術を伝えたことに始まり、初期の作品には大和国の刀工の影響を見ることができます。南北朝時代には相模国の名匠・正宗に学んだといわれる左安吉が正宗の影響を強くうけた刀剣を世に送りました。また桃山時代に肥前国（佐賀県）から山城国へと上京して埋忠明寿に入門し、帰国後、山城国の刀剣の特徴を継承して作刀した忠吉など、多様な作風が展開しました。



太刀 銘 左 名物 大左文字（筑前国 左文字派）
豊臣秀吉・徳川家康・豊臣秀頼・徳川家光（3代将軍）・徳川義直所持
駿府御分物
南北朝 14世紀



短刀 朱銘 左安吉（筑前国 左文字派）
本多忠義・徳川義直（尾張家初代）所持
南北朝時代 14世紀

展覧会関連イベント

◆鯨の尾ってどんな尾？ SPECIAL

2017年より過去3回に渡り実施している、名古屋港水族館と共同企画のチケットラリーです。特別展「名刀紀行—京・大和と九州—」で公開する「脇指 銘 吉光 名物 鯨尾藤四郎」はその姿が鯨の尾に似ていることから、名付けられたと言われています。名古屋港水族館で展示されるナマズの尾と比較してみてください。

4回目となる今回は、当館がPCブラウザ&スマホアプリゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」とのコラボレーションを実施することを記念して、刀の鯨尾藤四郎をモチーフとした刀剣男士の「鯨尾藤四郎」とのイベント限定オリジナルコラボ缶バッジをプレゼントいたします。

期間：2021年6月5日（土）～7月4日（日）

内容：開催期間中、名古屋港水族館と徳川美術館の両チケット（期間内に使用されたものに限る）の半券提示で、ノベルティ（オリジナルコラボ缶バッジ）を、もれなく全員（お一人様1回限り）にプレゼントします。なお、缶バッジはどちらの館でも交換可能です。詳細は当館公式HPをご覧ください。<https://www.tokugawa-art-museum.jp/area/gourmet/#event>

刀剣乱舞-ONLINE-とは

名だたる刀剣が戦士へと姿を変えた“刀剣男士”（とうけんだんし）。あなたは彼らを率いる“審神者”（さしにわ）となり、歴史を守る戦いに出ます。短刀、脇差、打刀、太刀、大太刀、薙刀、槍、剣の計8種の個性豊かな刀剣男士を集めて育て、あなただけの部隊結成！様々な合戦場を攻略していく、刀剣育成シミュレーションゲームです。

PCブラウザ版『刀剣乱舞-ONLINE-』、またはスマホアプリ版『刀剣乱舞-ONLINE- Pocket』の2つのサービスを提供しており、どちらからでも楽しむことが可能。刀剣男士と共に、勝利を目指そう！

PCブラウザ版『刀剣乱舞-ONLINE-』

スマホアプリ版『刀剣乱舞-ONLINE- Pocket』

対象推奨機種：iphone5以降

（推奨バージョン、ios9.0以上）/Android4.4以降

価格：基本無料（一部アイテム課金あり）

URL：<http://www.dmm.com/netgame/feature/tohken.html>



©2015 EXNOA LLC/Nitroplus



オリジナルコラボ缶バッジ

©2015 EXNOA LLC/Nitroplus

◆令和3年度刀剣講座（全2回）

刀剣鑑賞初心者から中級者を対象に、展覧会鑑賞に役立つ「刀剣講座」を開講します。

日時：2021年6月6日（日）・6月27日（日）

午後1時～1時30分（開場：12時30分）

会場：徳川美術館 講堂

定員：先着60名（事前申し込み制：満席）

料金：一般5,400円（入館料含む）

※既に満席となっておりますが、当日空席が出た場合のみ、1講座1,500円（入館料別）で受講いただけます。

※キャンセル待ちの事前予約は承っておりませんので、当日直接会場にてご確認ください。

◆トクガワナイトミュージアム ver.1

少人数でゆっくりと鑑賞をお楽しみいただける夜間開館を実施いたします。参加者限定のオリジナルジュートートバッグのお土産付。

日時：2021年6月19日（土）・26日（土）・7月3日（土）

17時30分～20時

定員：各日60名（最少催行人数15名）

料金：5,000円（税込）

申込方法：オンラインチケット 購入先着順 <https://www.e-tix.jp/tokugawa-art-museum/>

発売日：6月開催分は完売

7月開催分 2021年6月2日（水）正午～



視聴者・読者プレゼント提供

特別展「名刀紀行—京・大和と九州—」を、ぜひ御社媒体にてご紹介ください。

画像を1点以上使用してご紹介いただいた場合、視聴者・読者プレゼントとして本展覧会のご招待チケット（非売品）を、1媒体5組10名様にご提供いたします。（本券で同時期開催の企画展「あかがね / くらがね」もご覧いただけます。）

お問い合わせ

取材は随時お受けいたします



[報道関係対応窓口] 徳川美術館 管理部

吉川 由紀 yuki@tokugawa.or.jp

竹内 大知 d.takeuchi@tokugawa.or.jp

〒461-0023 名古屋市東区徳川町 1017

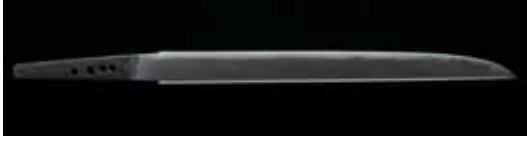
TEL：052-935-6262（10時～17時受付）

052-935-8222（営業時間外受付）

FAX：052-935-6261

特別展 名刀紀行—京・大和と九州—

広報画像申請書 使用期間：～2021年7月11日



① 国宝 短刀 銘 吉光 名物 後藤藤四郎（栗田口派）
後藤庄三郎・徳川家光（3代将軍）・徳川光友（尾張家2代）所持
鎌倉時代 13世紀
徳川美術館蔵



② 国宝 太刀 銘 来孫太郎作（花押）正応五年壬辰八月十三日（来派）
徳川家康所持 駿府御分物
鎌倉時代 正応5年（1292年）
徳川美術館蔵



③ 短刀 無銘 保昌（保昌派）
徳川家康所持 駿府御分物
鎌倉時代 13世紀
徳川美術館蔵



④ 短刀 朱銘 タヘマ 光室（当麻派）
徳川綱誠（尾張家3代）所持
鎌倉時代 14世紀
徳川美術館蔵



⑤ 太刀 銘 左 名物 大左文字（筑前国 左文字派）
豊臣秀吉・徳川家康・豊臣秀頼・徳川家光（3代将軍）・徳川義直所持
駿府御分物
南北朝時代 14世紀
徳川美術館蔵



⑥ 短刀 朱銘 左安吉（筑前国 左文字派）
本多忠義・徳川義直（尾張家初代）所持
南北朝時代 14世紀
徳川美術館蔵

使用媒体

放送日・発売日

プレゼント提供 希望する ・ 希望しない

貴社名

ご担当者様

データ送付先アドレス

ご連絡先電話番号

[ご利用にあたっての注意事項]

- ・画像のご利用は本展覧会の紹介用途のみに限ります。
- ・部分アップのトリミング、色変更等の加工はご遠慮ください。
- ・二次利用不可です。
- ・画像には最低限「タイトル」と「所蔵」のクレジットを明記してください。
- ・内容確認のための校正原稿をお送りください。
- ・ご掲載誌、DVD等を1部「徳川美術館 管理部 広報宛」でお送りください。



〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017

TEL: 052-935-6262 (10時～17時受付)

052-935-8222 (営業時間外受付)

FAX: 052-935-6261

担当: 吉川 yuki@tokugawa.or.jp

竹内 d.takeuchi@tokugawa.or.jp